

教師用指導案「環境に配慮した東京 2020 大会選手村」

- 対象： 小学校低学年
- 本時のねらい： 選手村における木材の活用を知り、環境に配慮した重要性を理解する。
- 準備物： 東京 2020 大会公式ウェブサイト [「持続可能性」](#)
- 適用可能な学習時間： 総合的な学習の時間、学級活動、生活科 等

時間	学習活動	指導上の留意点	参照資料等
導入 (5分)	1) 本時の見通しを持つ 東京 2020 大会の選手村の工夫された点について知る。	日本中から木を集めて選手村に使い、大会後も木材を使うことが環境にやさしいことを学ぶ。	
展開 (10分) (20分)	2) 選手村の中にあるビレッジプラザについて知る オリンピック・パラリンピックには、選手たちが一緒に生活する施設である選手村が作られる。その中に、選手同士の交流が行われるビレッジプラザという場所があり、歓迎の式典が行われる。ここは日本の各地から提供された木材を使用して作られ、木材は大会後に各地に戻されて活用される。 3) 木材でできたビレッジプラザで、あなたのクラスが選手との交流会を行うことになったら、どのような交流会を行うか考えてみよう。	ビレッジプラザのイメージ図を東京 2020 大会公式ウェブサイトから見せる。 お店やカフェなどが入り、選手たちの交流の場所であること、また、大会後も木を大切に使うことも理解させる。 グループで考える。	東京 2020 大会公式ウェブサイト 「日本の木材活用リレー」 「オリンピック価値教育の基礎」アクティビティシート p.33
まとめ (10分)	グループで考えたことを発表する。建物を環境に優しいものにして、大会が終わった後も木を大切に使うことが大事であることを確認する。		